

The Akita University Post

発行 AUP秋田大学報道局
印刷 有限会社三浦印刷

Monday, July 9, 2012 No.17

TAKE FREE

 aup@live.jp
AKITA UNIVERSITY

緑をたざねて

新緑がより一層緑の色を濃くして、時折赤や太陽の光は、夏の訪れを感じさせる。秋田大学手形キャンパス内及び周辺において多彩な自然が存在しているが、普段、生活している中でそれらの自然に目を向ける機会は少ないのではないかと思う。そこで今回は身近にある自然を知り、親しみを持ってもらうことを目的とし、取材した。

ニュートンの木

キャンパスには普段の生活においてはあまり見られない個性的な樹木もある。大学正門を抜けた後、十字路沿いの比較的目標立つところに「ニュートンの木」と言われているリンゴの木がある。この木はニュートンの生まれ故郷であるイギリスのウールソープ村からミドルセックス国立物理研究所へ植樹され

家である本学教育文化学部の井上正鉄教授(63)に、キャンパス内の樹木を解説していただいた。

東大付属植物園、秋田県果樹試験場を経て秋田大学に植樹されたという変わった経歴をもつ。

また、一般教育棟一号館近くの庭にはカラタチがある。カラタチはミカン科に属する樹木で茎に鋭いトゲがあるのが特徴で、ピンポン玉大の黄色い果実を生ず。この果実は食用ではないので、くれぐれも口にするのではないようにしていただきたい。

比べてみよう

キャンパスにおけるマツの本数は全体の約4割と多くの



木々は四季の移ろいに応じて、形や色を変え、様々な表情を見せてくれる



→ハナミズキ

割合を占めている。キャンパス内の樹形が似ているものに、アカマツ、クロマツ、コウヤマキがあげられる。これらを見分けるには、針のような葉に注目するとよい。アカマツはクロマツに比べて葉が柔らかく、それに対してクロマツは、ブラシのように硬い葉を形成する。コウヤマキは先に挙げた2つより短い葉を作る。このように樹木の違いを見比べることができれば、普段歩く道も面白くなることだろう。

若葉の季節

中学も高校も山の中にあった私が大学に入学した時、キャンパス内の建物と樹木のコントラストはとても綺麗に感じた。大学生という新生活に足を踏み入れることに、心をとぎめかせていたというのもあるのかもしれない。気づかないところで、季節の花や木々の彩りが心に安らぎと落ち着きを与えているのは言うまでもない。学生は、普段通り慣れた道に植えられていた樹を、足をとめて見上げてみてはどうだろうか。また違った一面が見られるかもしれない。

(嶋崎雄基)

どうも私は、計画を立てるのが苦手らしい。春休みはヨーロッパに一人旅へ出かけた。10日ばかりの今回の旅行も、出発の2週間前に往復の航空チケットを購入し、直前に行先を変えようという無計画なものだった。決して旅慣れているわけではないのに、旅の楽しみは人それぞれで違ってくる。美しい景色を見ること、その土地ならではの料理を食べること。私の場合は、旅先で人と出会うことを楽しみにしている。どんな些細な会話でもいい。とにかく、現地の人とふれあってみよう。小さい例ではあるが、今回もこんなことがあった▼ドイツの都市ドレスデンからチェコの首都プラハへ向かう電車の中で、アフリカ系の女性と乗り合わせた。彼女はボツワナ出身で、プラハの大学に留学している歯学部学生だという。「こっちは電車の中で話す習慣がないから、普段は私は話しかちやうの」と話してくれた。互いの国のことや、自分の将来のこと。語学力がパーフェクトだと自称するだけあり、なるほど彼女の英語は聞き取りやすかった。私の大学受験仕込みの英語力では、到底かないそうもない。車内での時間はあっという間に過ぎて行くのだった▼もちろん、秋田にいても素晴らしい出会いには数々ある。しかし、私の「旅」と「新たな出会い」への欲求は、休みが近づくとさらに深まっていく▼一人見知らぬ土地を歩くと、不安から周囲に目を向けようとする。また、コミュニケーションの不自由から自分自身と対話し、様々な考えを巡らせることもあるだろう。そして何より、思い通りにいかない中で、最善の選択をしようと試みるのだ。「頼りになるのは自分だけだ」と必然的に感じる▼出会いと別れ—プラハの石畳を歩きながら、旅の不安と将来への不安を重ね合わせている自分がいた。

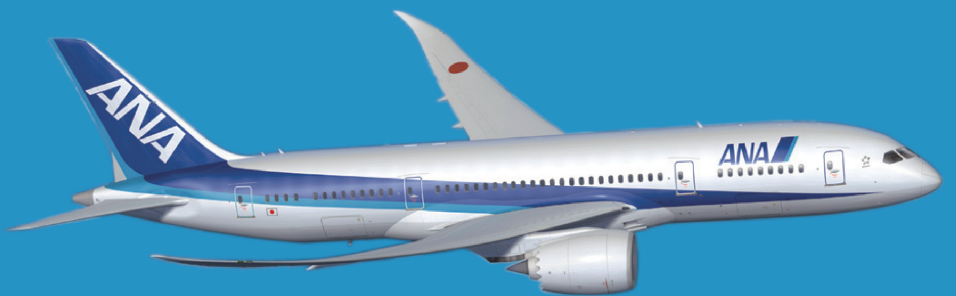
(濱田俊太郎)

この夏、AUPが学生のパスポートになる。



ANAセールス(株)秋田支店から大学生だけに先着20名、JCBギフト券(5,000円分)をプレゼント。
(対象は大学生を含む大人旅客で、現地空港から参加プランを除く)

※ただし、以下の条件があります。
・商品名は「ANAハローツアー」
・方面はアメリカ・ヨーロッパ・ハワイ・ニュージーランド
・期間は7月～9月に出発すること



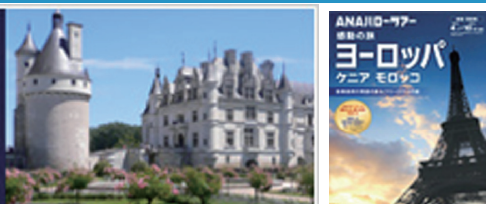
下記旅行会社に学生証と本紙を持ってお申し込み下さい。

観光庁長官登録旅行業第 1573号
JTB東北 秋田店

〒010-0921 秋田市大町3丁目2-5
TEL:018-863-6616
FAX:018-824-1282

ANAハローツアー
感動の旅

満足を超えて、感動まで。



手形食堂の裏側

皆さんの食生活はどうだろうか。平成21年度、内閣府食育推進室が行なった「大学生の食に関する実態・意識調査報告書」によると、欠食の頻度については「欠食しない、または週2食未満欠食する」とする学生は57.1%となっている一方、「毎日1食以上欠食する」学生は9.2%存在している。また、健康でないと解答した人の内、毎日1食以上欠食している人は17.2%存在している。そのため、食事を抜くことは健康に悪影響を及ぼすのではないかと

食堂の朝は早い

学生食堂は我々の生活の一翼を担っている。また、友達と話をしながらの食事は、大学生活の楽しみの一つであり、学生のコミュニティにもなっている。そんな手形食堂の裏側に迫ってみた。

業務開始は午前6時30分。7時には搬入口に食材を乗せたトラックが到着し、そこから数えきれないほどの段ボールが降ろされる。これらの段ボールは、女性1人の手で冷凍庫に入れられる。厨房では、各スタッフが業務用の機械を使って自

永遠の課題

食堂のスタッフの勤務時間は「3時間・4時間・4時間半・5時間・6時間・7時間」と、それぞれの担当場所や家庭の事情で違う。昼は利用者のピークを迎えるため、スタッフが多く配置されている。手形食堂の利用者は1日で約2400人いるが、そのうちの1000人以上が午前11時から午後1時の間に利用している。次々に入る注文に応じる厨房も大変だが、利用者の回転率を上げなければならぬ。雑時は、「声をかけることも大変な状況で、昨年、食堂を200席増床したが、混雑状況はあまり変わらない。長居をする人や、奥の席が空いているも手前の席に座ろうとする人が多いためだ。スタッフはそのような人に対して声をかけるが、応じてくれない場合がしばしばあるという。

健康の提供

午後7時30分、「蛍の光」がホールに響く。ラストオーダーぎりぎりになり駆け込む学生もまばらに見られる。レポートを書きながら、スプーンを口



「蛍の光」が止むと片付けが本格的に始まる。ここでは学生スタッフの活躍の場だ。食器を巨大な洗浄機に流し込む。食器の総数は職員でも把握できないほどだが、スタッフは同じ型の食器を丁寧に洗って並べていく。食器洗浄が終わると、ゴミ出しやホールの清掃が始まる。全体のモップがけ、テーブル拭きなどをを行い、状況に応じて職員の作業を手伝う。午後8時30分に全体の作業が終了し、手形食堂の一日は幕を閉じる。

時間さんは「20年以上、学生に勤めているが、学生が卒業したあとも仕事の関係で訪ねてくれるとうれしく思う。これからの季節、食堂の裏側は暑さと忙しさとの戦いだ。お客様のために頑張りたい。食欲が落ちる季節だが、手形食堂を1日1回利用してくれれば、私たちスタッフはとてうれし。毎月第2月曜日に管理栄養士の指導の下で学生向けのレシピを発行している。是非利用して欲しい。」と語ってくれた。

写真左が澤田さん。おすすめのものは、西澤保彦『聯秋殺』。



今年4月、本学に「秋田大学ミステリ研究会（AMC）」が設立された。結成1年目のため非公認サークルの扱いだが、現在14名の部員が所属している。

立ち上げを思い立ったのは、部長である工学資源学部

ミステリの世界へようこそ

土木環境工学科2年の澤田真満さん。高校の頃からミステリ小説を読むのが好きだった。大学入学後はAMC設立を視野にいれ、インターネット上の読書会サークル参加他大学にあるミス研のツイッターやブログを参考にした情

で交流のある学生だったのだ。秋田大学にも同じ興味を持つ学生がいるとわかり、共同でメンバーを集め、4月の設立に至った。

活動内容は読書会や文芸誌発行など。読書会とは課題本を決め、活動日に担当者が本

に関する情報を紹介し、メンバーで感想や疑問などの意見交換をする。澤田さんは「読書という一人でもできることを一人で行うのでなく、紹介や感想を話すことで誰かとつながっていく」ことに読書会の魅力があると

をしようなど、SNSを有効活用している。一方、直接身近な仲間と交流できるサークル活動をすすめている。ミステリへの熱い想いだけでなく、今の若者にこそできる人との新しいつながりが感じられた。「ミステリ好き

現在、手形食堂では「ちよいと得キャンペーン」を実施している。午前10時30分から11時30分と午後2時から5時までの時間帯での利用者に対して、300円以上で1ポイントを進呈するキャンペーンを行っている。10ポイントで喫茶メインにおいてソフトクリームと交換できるので、空きコマがある人は積極的に利用してはいかがだろうか。

（関駿介・村田修輔）

のびのび楽しく身体を動かす健康スタジオ

FUNxFUN
ファン ファン ファミリー スタジオ

FAMILY STUDIO

Tel. 833-4868 川原病院2階

マニティピクス/マニティスレック/ママ&キッズフィット
ペピーピクス&ママヨガ/からにやさしいストレッチヨガ
のびのびエアロビクス/リズムダンス/サマシ/曲 一般クラス

産科・婦人科・内科

川原病院

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
午前8:30~午後12:30	●	●	●	●	●	●
午後2:30~午後7:00	●	●	●	●	●	●

休診 木曜午後・日曜・祝日

保険無料相談 実施中!

有限会社 木曾保険事務所

〒010-0862 秋田県秋田市手形田中5-41

TEL 018-833-1758 FAX 018-833-2115

E-mail sk-hoken@camel.plala.or.jp

URL http://www.sompo-japan-ag.com/a/sk-hoken/

おでん
ばい あん てい
梅安亭

〒010-0854
秋田市手形山崎町 8-17 神保ビル 1F
TEL 018-(825)-2011

営業時間
大体午後6時から、
おおかた午後11時まで

定休日 日曜日・月曜日

018-874-8091 **BIGSHOT**

手形で★お手軽★遊び!

ダーツは2プレイ100円
ビリヤード 撞き放題もお得
カフェは1時間200円~
WiFi&充電は★無料★

フードパソソシエ携帯電話・携帯ゲーム
どんどん充電0円支給放電1-サクサクWiFiも夕
Open11:30 Close24:00

塾で避難者支援、秋大生の挑戦

秋田大学の学生が中心となって、被災した子どもたちに「塾」を開いているのを「存じだろ」か。

教育文化学部学校教育課程2年の遠藤大輝さんが主宰するのは「ふくしまの集い」。

秋田に避難している小中学生に学習支援塾「きびたの家の塾」を開いている。大人にむけた支援は多いが、小中学生の子どもにもむけた定期的な支援は少ないという。子どもと気軽に接することが容易な大学生という身分を生かし、震災で空いてしまった学習の手助けになればとボランティアを行っている。今は3、4人の子どもたちが定期的に訪れており、「テストでいい点がとれた」という声や「楽しかった」と帰る姿を見ると、やり

がいを感じるそうだ。遠藤さんは福島県出身。1年生のときに秋田大学の復興支援団体AKITAIIDをはじめ各種支援団体に参加し、そのときに「ふくしまの集い」のメンバーである日赤短大の学生とも知り合った。同じ福島出身ということも意気投合し、「何か活動したい」と今に至った。被災地のアンテナショップ「イースト・ブルー」に事情を話して場所を借り、助成金を基に活動を始めた。そして自分たちで作成したチラシを各公共機関や支援者団体に持っていく、周知を行っていた。

自ら教職の授業を受ける彼は、「学校の授業についていけない子どもたちに学習支援は必要、震災で学習について

いけないならばおさうだ」と感じ、震災のことを知りた

い人や、震災のことを知りた

い人であれば是非参加してもらいたい。

「時間が経てば『震災』という言葉も無くなるだろう。ただ、そうだから『塾をやめます』ではないと思う。場所の拡大などを通して、継続できるような工夫をしていきたい。」と思いを語ってくれた。メンバーの多くは高学年で人数が足りないそう。震災支援をしたいがよくわからない

い人や、震災のことを知りた

い人であれば是非参加してもらいたい。

「時間が経てば『震災』という言葉も無くなるだろう。ただ、そうだから『塾をやめます』ではないと思う。場所の拡大などを通して、継続できるような工夫をしていきたい。」と思いを語ってくれた。メンバーの多くは高学年で人数が足りないそう。震災支援をしたいがよくわからない

い人や、震災のことを知りた

い人であれば是非参加してもらいたい。

「時間が経てば『震災』という言葉も無くなるだろう。ただ、そうだから『塾をやめます』ではないと思う。場所の拡大などを通して、継続できるような工夫をしていきたい。」と思いを語ってくれた。メンバーの多くは高学年で人数が足りないそう。震災支援をしたいがよくわからない

い人や、震災のことを知りた

い人であれば是非参加してもらいたい。

「時間が経てば『震災』という言葉も無くなるだろう。ただ、そうだから『塾をやめます』ではないと思う。場所の拡大などを通して、継続できるような工夫をしていきたい。」と思いを語ってくれた。メンバーの多くは高学年で人数が足りないそう。震災支援をしたいがよくわからない

い人や、震災のことを知りた

い人であれば是非参加してもらいたい。

「時間が経てば『震災』という言葉も無くなるだろう。ただ、そうだから『塾をやめます』ではないと思う。場所の拡大などを通して、継続できるような工夫をしていきたい。」と思いを語ってくれた。メンバーの多くは高学年で人数が足りないそう。震災支援をしたいがよくわからない

い人や、震災のことを知りた

い人であれば是非参加してもらいたい。

「ふくしまの集い」連絡先 fukushimanotudo@gmail.com

9月15日・16日、「秋医祭」が18年ぶりに秋田大学本道キャンパスで開催される。その中心となるのは、秋田大学医学部の学生がつくる「秋田大学医学部祭実行委員会」である。実行委員長は、秋田大学医学部医学科4年の渡部健さんだ。かつて、秋田大学医学部の学園祭は数年に一度開催されており、最後は平成6年だった。資料はほとんどなく、手探りからのスタートだ。だからこそ全く新しいものができ、「秋田大学医学部や医学を身近に感じてほしい」と渡部さん。秋医祭では、地域医療に関するシンポジウム、ミス&ミスターコンテストなど多彩な催し物が企画されている。また、高校生体験入学のコーナーもあり、模擬講義、エコー検査の体験・キャンパス案内が予定されている。15日の夜の「初夜祭」で



は、各団体からのステージパフォーマンスが行われる。さらに、秋田県出身のタレントを招こうとする動きもある。同委員会は昨年10月頃から活動を始め、現在メンバーは30人ほど。他に医学科4年、保健学科2年を中心とした協力者がおり、医学部全体で秋医祭の開催を目指している。いずれは、毎年手形キャンパスで行われている「秋田大学祭」との人材交流などの協力も視野に入れていくという。お互いに良い刺激となつて、秋田大学の学園祭がさらに盛り上がることを願う。(久米真利子)

18年ぶりの秋医祭

開催日程 15日は10時半から17時、16日は9時半から16時。問い合わせは秋医祭実行委員会 info.shuisai@gmail.com ツイット ターは@shuisai2012

卒業生に聞く

この時期、就職活動はひとつのピークを迎え、本学にも内々定をもらった方が多くいると思う。しかし、「その先」を考えている人はほとんどいないのではないかと。社会人になると、今までとは違う感覚や悩み・ストレス、学生のころとのギャップなどが生じてくるだろう。それを受け止め、実際に社会人として働いている先輩がいる。今回から、本学の卒業生の「生の声」を全3回のシリーズでお送りする。第1回目の今回は、工学資源学部の卒業生である。

Q:卒業された学部・学科を教えてください。
A:工学資源学部土木環境工学科
都市の中心市街地の活性化に関する研究を行っておりま

Q:現在、どのような仕事をされていますか。
A:コンクリート二次製品(例 地中に埋める水路、道路

卒業生に聞く 第1回
工学資源学部出身 南出拓也さん



プロフィール (みなみ たくや) 工学資源学部土木環境工学科 2011年卒業 現在、株式会社ミルコンに勤務

の側溝など)の図面を描いたり、構造計算を行ったりしています。

Q:現在の就職先は、第一志望でしたか。
A:第一志望ではなく、就活サイト経由で知った会社でした。

Q:就職してから、失敗したことはありますか。
A:仕事を始める時に、あい

まいな捉え方のまま進めてしまいましたが、だいた進んだところで間違いに気づき、やり直しとなったことです。疑問点はそのままにしておかず、すぐに聞くことが重要だと思いました。

Q:就職する前とした後で感じたギャップや、予想していなかった出来事はありますか。
A:学生のときは研究を計画

Q:これから社会人になる後輩たちへメッセージをお願いします。
A:仕事は基本的に一人で行っていくものではなく、複数の人が協力して行っていくものだと思うので、始

よりも遅れて行っていました。しかし、社会では期限が定められているものが多く、遅れることが許されないというところが学生と社会人のギャップを感じました。

Q:現在されているお仕事は、定年まで続けるつもりですか。
A:実際はどうなるかわかりませんが、今の仕事を定年まで続けられたらいいなと思っています。すでに会社の半分の人と仲良くなり、そのメンバーで仕事を続けていきたいという思いがあるからです。

様々な理由があるにせよ、大学を卒業したら働かなくてはならない。このように卒業された先輩方の生の声を聞き、少しでも卒業後のイメージを膨らませることが大切であると思っています。

次回以降、教育文化学部・医学部と本学を卒業された先輩方が登場します。該当する学部の在校生はもちろん、違う学部の方も参考にしてください。 (佐藤慎晃)

学生生活応援 します

秋大生向け賃貸物件豊富！お部屋探しはお任せ下さい！

礼金・敷金 仲介料 **0円** キャンペーン 実施中!!

〒010-0854 秋田市手形山崎町 10-27 秋田県知事(9)第1052号

秋田大学 南門前 **秋田グリーン開発(株)** ☎ 018-835-3508 <http://www.green-akita.co.jp>

Nostalgic Garden Style to・ko・to・ko

「ガーデンプランツ工藤」苗販売店 宿根草とハーブと園芸雑貨 専門店

■森のガーデン 秋田市手形山トンネル出入り口 OPEN:10:00~17:30 TEL:090-6225-4890

■分室 秋田市手形田中14-20 OPEN:11:00~17:00 TEL:018-893-4319

お部屋探しは **緑屋不動産**

〒010-0854 秋田市手形山崎町1番12号

TEL 018-835-1595 FAX 018-835-8655

AUP Photo Library.



重なる笑顔、音は鳴る。 秋田大学吹奏楽団 (嶋崎雄基)

AUP INFORMATION

夏にあわせて Twitter 始めました

ID akitauniv_press

ブログもやっています

記事を書いてみたい、編集してみたい

AUPへようこそ

取材情報も募集中 aup@live.jp



クリエイターズ枠 作品募集!!

あなたのつくったイラスト・文章・写真などの創作物を新聞にのせてみませんか?
(審査あり、オリジナルの作品に限る)
詳しくはAUPまで。
メールアドレス aup@live.jp

季節は巡り、また夏がきた。前号が発行されてから、早いものでもう3ヶ月半である。そうしている間に年度をまたぎ、我々は新しいスタートを切った。

(主筆・佐藤慎児)

前号でもご紹介したとおり、吉岡尚文先生が昨年度末で退官された。長年AUPの顧問を務めてこられた吉岡先生に代わり、今年度から辻野俊哉先生が顧問に就任して下さった。面倒な役職を引き受けて下さった先生のためにも、いらぬ心配をかけないようにしっかりと気を引き締めて活動していく所存だ。

また、この春から3名の新入生がAUPに加入してくれた。既に大切な戦力として、重要なポジションを担っている。今まで人手不足に悩まされてきた我々にとって、質の高い人材に恵まれたことは大変ありがたい限りである。

そして、今号から紙面のレイアウトを大幅に変更した。お気づきの方もいると思うが、紙面の下段に広告欄を設けた。広告募集の営業活動を行ったところ、結果として9つの企業・事業主様から協賛を得ることが出来た。このご時世、我々に投資下さった広告主の皆様には、この場を借りて改めて感謝申し上げます。

このように新しいことだらけの最新号は、我ながら力を出し切ったものになっていると思う。しかし記事の内容やプランは、まだまだ発展途上でしかないと思ってしまう。「誰がための新聞か」それを見失わぬよう、もう一度確認しながら次号へ歩を進めて行きたい。

秋田百聞

「数学を教えるだけなら誰でも良い。僕には自分にか伝えられないものがある」と語るのは三戸学さん(35)。今年から秋田大学大学院教育学研究科の大学院生として学ぶ、現役の中学校教師だ。三戸さんは出生時に脳性マヒとなり、手足や言葉に障がある。そのため、専門としてある数学の授業では、ハンディキャップをいかして様々な工夫を施してきた。そんな自らの授業実践を、言語活動に焦点を当て理論的に分析したいというのが、研究の主な課題となっている。

これまで、様々な教育実践を行ってきた三戸さん。例えば、三戸さんは一人で階段を上り下りする際にサポートを必要とするが、「肩を貸さない」とは指導しない。「助けて」という思いは、自ら育っていくと考えているからだ。代わりに、自分が日ごろ「何に困っているのか」や「どのようにしてほしいか」を生徒達に伝えている。「自分の弱い部分をさらけ出してもいいんだ」という、メッセージを込めて。そこで、そつと手

僕には自分にか伝えられないものがある

数学教師 三戸学さん

師を目指す学生には、まず「自分とは何なのか」と自らを見つめ直してほしいという。その先に、自分が教師になりた理由があると考えられる。指導する教育文化学部教員採用試験を3度目にして合格した。掛けそうになったこともあったが、「子ども達と関わっていききたい」という強い思いで教師を目指した。教

素晴らしい教師との出会い。その後の人生に及ぼす影響は小さくない。今年度教師生活12年目を迎える三戸さんは「これからの人材」を育てることに、よろこびを感じるという。学内で自分の教え子を見かけることもあるという三戸さん。教師としての仕事の重みを秋田大学でも感じている。

(濱田俊太郎)



プロフィール (さんのへ まなぶ)
1976年 秋田県生まれ
出生時に脳性マヒとなり、手足や言葉などに障がある
秋田県立秋田南高校、山形大学教育学部 卒業
現在、秋田県内の中学校教師として勤務
担当は数学

主な著書に
『マイ・ベクトル 夢をあきらめないで』(グラフィ社)
『僕は結婚できますか?』(無明舎出版)

AUP 編集後記

しぶとく
ミスコン
続けてます。

ミスコン 今年で5周年

AUP

ミスコン出場者募集中!!

実施日 10月 大学祭初日
実施場所 秋田大学 手形キャンパス
連絡先 aup@live.jp
あわせて運営ボランティアも募集中です。

免許ほしいな... 思い立ったら

免許の取得は "Motor"

秋田モータースクール

秋田市茨島四丁目3番36号 TEL018-864-5515
URL:http://www.aki-mo.jp E-mail:akimo@diplaza.co.jp